

# 今後の道路整備の重点化方針

※大阪府都市整備中期計画（案）

H24.3 から抜粋

「大阪の成長戦略」「財政構造改革プラン（案）」「将来ビジョン・大阪」などの基本計画を踏まえ、「活力・成長」、「安全・安心」の2本柱で実施

## “活力・成長”

「世界をリードする大阪産業」を支えるための物流の効率化や広域連携の強化に資する道路整備

～国内外への広がり確保する道路ネットワーク～

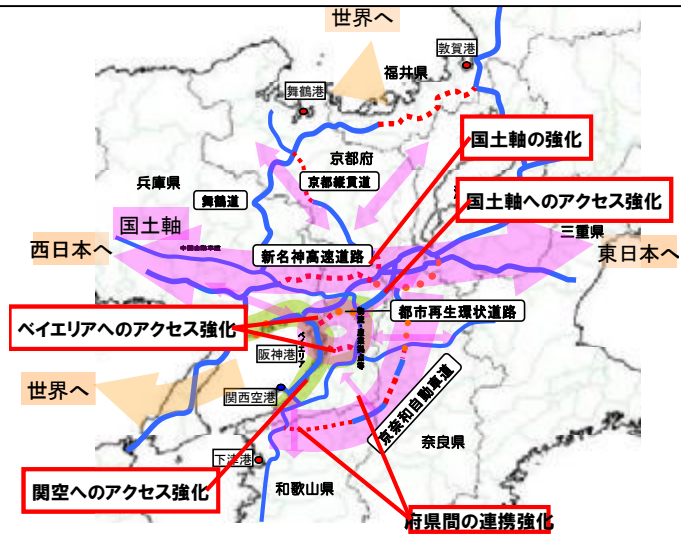
- ◆大阪の内外への円滑な交通の確保に寄与する路線
- ◆産業拠点開発等に必要な路線

## “安全・安心”

「だれもが安全・安心 No.1 大阪」を支えるための道路整備

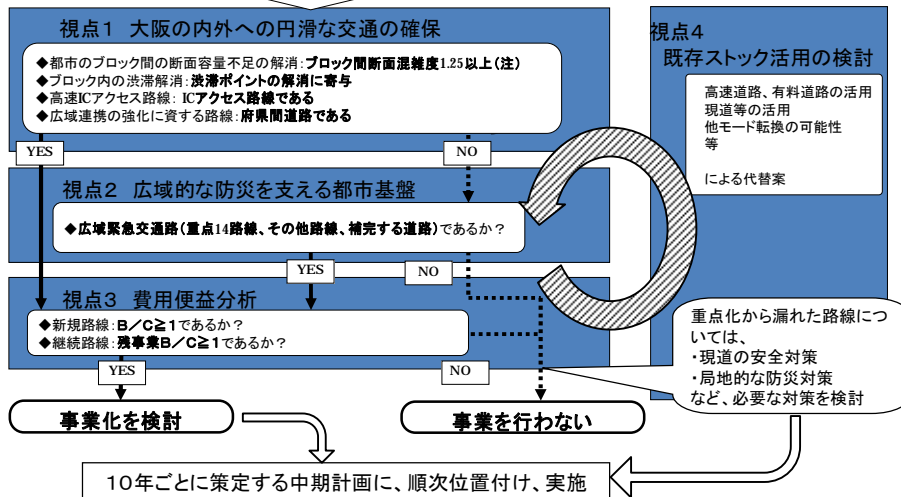
- ◆開かずの踏切対策（道路と鉄道の立体交差化）
- ◆歩行者・自転車走行空間確保、バリアフリー化
- ◆防災を支える都市基盤整備

など



※産業政策、総合特区、物流戦略、防災力強化など、広域的な都市経営の観点から成長に必要な路線は別途対応

大阪府がこれまで整備を考えていた路線全て(約280km)



### 【道路・街路事業進捗状況】

都市整備中期計画（案）に位置付けがある53路線のうち、13路線が概成（25%）、24路線が部分供用（45%）しており、重点化による効果が着実に発現している。

今後、概ね30年で幹線道路ネットワークを概成させ、大量更新時代に向け維持管理に投資をシフト

### (1) 第1ステージ 大規模継続事業にメド（平成23年度～平成32年度）

「国際競争力を高めるための物流・産業活動を支える都市の戦略インフラが概成」

<活力・成長> 大和川線、新名神高速道路アクセス、府県間道路 等

<安心・安全> ・連立事業（東大阪・高石・泉大津）

- ・道路施設の長寿命化、ライフサイクルコストの抑制など戦略的な維持管理に移行
- ・自歩道整備、事故危険対策、バリアフリー化 等

### (2) 第2ステージ 成長の定着と安全・安心の充実（平成33年度～平成42年度）

「戦略インフラの効果を府域に定着させる」

<活力・成長> 広域幹線道路ネットワークの更なる整備推進

<安心・安全> ・連立事業（枚方・寝屋川・摂津）

- ・道路施設の長寿命化、ライフサイクルコストの抑制など戦略的な維持管理
- ・自歩道整備、事故危険対策、バリアフリー化 等

### (3) 第3ステージ 大量更新時代への移行（平成43年度～）

「府民に密着した道路の質の向上と大規模更新事業をスタート」

<活力・成長> 現道拡幅事業などネットワークの総仕上げ

<安心・安全> ・戦略的な維持管理に加え、幹線道路の橋梁架替に着手（健全度の低いものから）するなど、大量更新時代に向け、投資をシフト

- ・自歩道整備、事故危険対策、バリアフリー化 等